



平成28年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年6月10日
東

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4996 URL <http://www.kumiai-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池好智
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 吉村 巧 (TEL) 03-3822-5036
 四半期報告書提出予定日 平成28年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年10月期第2四半期の連結業績(平成27年11月1日～平成28年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第2四半期	41,213	6.5	3,401	△3.8	4,359	△2.4	3,073	△4.2
27年10月期第2四半期	38,682	10.1	3,534	8.5	4,466	16.6	3,207	31.2

(注) 包括利益 28年10月期第2四半期 1,382百万円(△68.4%) 27年10月期第2四半期 4,368百万円(23.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第2四半期	38.67	—
27年10月期第2四半期	40.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年10月期第2四半期	93,855	57,444	57.6
27年10月期	85,089	56,787	62.8

(参考) 自己資本 28年10月期第2四半期 54,032百万円 27年10月期 53,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	—	—	8.00	8.00
28年10月期	—	—	—	—	—
28年10月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の連結業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	8.0	3,200	△14.0	5,400	△33.0	4,000	△39.1	50.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年10月期2Q	86,977,709株	27年10月期	86,977,709株
② 期末自己株式数	28年10月期2Q	7,505,719株	27年10月期	7,505,338株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年10月期2Q	79,472,157株	27年10月期2Q	79,916,303株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油安を背景に企業収益が好調に推移し、設備投資の増加や雇用・所得環境に着実な改善がみられるなど基調としては緩やかな回復を続けております。一方で、新興国を中心とした海外経済の下振れや円高により金融市場が不安定な動きをみせるなど、先行きは依然不透明な状況となっております。

農業に関しましては、産業競争力会議が発表した「成長戦略の進化のための今後の検討方針」の中で、2020年に農林水産物・食品輸出額を1兆円に拡大する目標の前倒しに向けた取り組みの深化が検討されるなど、「攻めの農業」の実現に向けた施策の展開が続いております。

このような情勢のもと、当グループは、重要方針である持続的成長の維持や企業体質の強化を図るべく、増収・増益を継続できる経営基盤の構築や利益率の向上に取り組み、自社開発品を中心に、マーケティング戦略に基づく普及・販売施策の推進や海外事業の一層の拡大に努めてまいりました。

当グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は412億1千3百万円、前年同期比25億3千万円(6.5%)の増となりました。損益面につきましては、試験研究費等の販管費の増加が影響し、営業利益は34億1百万円、前年同期比1億3千4百万円(3.8%)の減、経常利益は、為替の影響により、43億5千9百万円、前年同期比1億7百万円(2.4%)の減、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年に計上した特別利益の影響により、30億7千3百万円、前年同期比1億3千4百万円(4.2%)の減となりました。

セグメントの概況につきましては以下の通りです。

セグメント	平成28年10月期 第2四半期		平成27年10月期 第2四半期		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
化学品	38,990	94.6	36,526	94.4	2,465	6.7
賃貸	116	0.3	115	0.3	1	1.0
その他	2,107	5.1	2,042	5.3	65	3.2
計	41,213	100.0	38,682	100.0	2,530	6.5

① 化学品セグメント

国内販売部門の農耕地分野では、新規水稲用除草剤「フェノキサスルホン剤」の販売は増加したものの、水稲用除草剤「ピリミスルファン剤」、「トップガン剤」などの既存の主力製品の販売が減少し、他社との競合激化に伴って水稲用除草剤全体の売上は前年同期を下回りました。

水稲用箱処理剤は、「イソチアニル剤」の販売が好調に推移し前年同期を上回りました。一方、園芸分野では、長引く在庫調整の影響などにより、殺菌剤、殺虫剤ともに低調に推移しました。

また、非農耕地向け薬剤販売及び受託加工においても、在庫調整の影響により厳しい状況が続きました。

海外販売部門では、畑作用除草剤「アクシーブ(ピロキサスルホン)剤」の売上が米国で大きく伸張したことに加え、直播水稲用除草剤「ノミニー」の販売がインドや東南アジア諸国で増加し、さらに植物成長調節剤「KIM-112」が欧州で好調に推移したことなどから、前年同期を大きく上回りました。

上記の結果、化学品セグメントの売上高は389億9千万円、前年同期比24億6千5百万円(6.7%)の増、営業利益は34億3千1百万円、前年同期比1億2千8百万円(3.6%)の減となりました。

② 賃貸セグメント

賃貸セグメントの売上高は、引き続き保有資産の有効活用に努めた結果、1億1千6百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は2億1千万円)、前年同期比1百万円(1.0%)の増、営業利益は1億3千4百万円、前年同期比7百万円(5.4%)の増となりました。

③ その他

流通事業、印刷事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業及びメガソーラーによる売電収入などで構成されるその他は、流通事業では既存顧客の取扱量減少により、売上、利益ともに前年同期を下回りました。印刷事業では既存顧客へ提案型営業に努め、引き続き経費削減を進めた結果、売上、利益ともに前年同期を上回りました。メガソーラー等による売電収入は好天に恵まれ売上、利益ともに前年同期を上回りました。以上の結果、その他全体の売上高は21億7百万円、前年同期比6千5百万円(3.2%)の増、営業利益は1億8千7百万円、前年同期比1千8百万円(8.6%)の減となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は938億5千5百万円で、前連結会計年度末に比べ87億6千6百万円の増となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加が、現金及び預金、商品及び製品並びに投資有価証券の減少を上回ったことなどによるものです。

負債は364億1千1百万円で、前連結会計年度末に比べ81億9百万円の増となりました。これは主に支払手形及び買掛金並びに短期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産は574億4千4百万円、自己資本比率は57.6%、1株当たり純資産は679円89銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年10月期通期の連結業績予想は、平成28年6月7日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,742	6,669
受取手形及び売掛金	10,014	24,984
有価証券	645	645
商品及び製品	8,630	6,793
仕掛品	2,663	2,511
原材料及び貯蔵品	1,574	1,517
繰延税金資産	793	791
その他	862	1,374
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	34,918	45,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,789	3,960
機械装置及び運搬具（純額）	1,939	1,850
土地	6,413	6,408
建設仮勘定	188	36
その他（純額）	511	496
有形固定資産合計	12,839	12,750
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	36,151	34,599
繰延税金資産	302	295
退職給付に係る資産	11	5
その他	595	648
投資その他の資産合計	37,060	35,547
固定資産合計	50,171	48,573
資産合計	85,089	93,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,296	14,190
短期借入金	3,580	9,590
未払金	1,787	1,145
未払法人税等	846	1,053
賞与引当金	639	498
その他	564	724
流動負債合計	17,712	27,201
固定負債		
長期借入金	5,650	4,950
繰延税金負債	1,686	1,199
役員退職慰労引当金	391	285
退職給付に係る負債	2,554	2,461
資産除去債務	36	37
その他	273	278
固定負債合計	10,590	9,210
負債合計	28,302	36,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	5,033	5,033
利益剰余金	42,024	44,456
自己株式	△1,565	△1,566
株主資本合計	50,026	52,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,770	2,717
為替換算調整勘定	△89	△858
退職給付に係る調整累計額	△307	△285
その他の包括利益累計額合計	3,374	1,574
非支配株主持分	3,386	3,412
純資産合計	56,787	57,444
負債純資産合計	85,089	93,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
売上高	38,682	41,213
売上原価	30,173	32,527
売上総利益	8,509	8,686
販売費及び一般管理費	4,975	5,285
営業利益	3,534	3,401
営業外収益		
受取利息	33	33
受取配当金	221	125
持分法による投資利益	449	1,119
為替差益	175	—
その他	115	85
営業外収益合計	993	1,362
営業外費用		
支払利息	7	22
売上割引	29	28
為替差損	—	329
その他	25	25
営業外費用合計	61	404
経常利益	4,466	4,359
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	62	1
知的財産権譲渡益	883	—
特別利益合計	947	1
特別損失		
固定資産処分損	32	13
投資有価証券売却損	13	—
環境対策費	427	—
特別損失合計	472	13
税金等調整前四半期純利益	4,941	4,347
法人税等	1,554	1,122
四半期純利益	3,386	3,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	179	152
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,207	3,073

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
四半期純利益	3,386	3,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	928	△822
為替換算調整勘定	9	△94
退職給付に係る調整額	1	21
持分法適用会社に対する持分相当額	43	△948
その他の包括利益合計	981	△1,844
四半期包括利益	4,368	1,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,178	1,273
非支配株主に係る四半期包括利益	190	108

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	36,526	115	36,641	2,042	38,682	—	38,682
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	96	96	870	965	△965	—
計	36,526	210	36,736	2,912	39,648	△965	38,682
セグメント利益	3,560	127	3,687	205	3,892	△357	3,534

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業、発電及び売電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△357百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	38,990	116	39,106	2,107	41,213	—	41,213
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	94	94	794	887	△887	—
計	38,990	210	39,200	2,900	42,100	△887	41,213
セグメント利益	3,431	134	3,565	187	3,753	△352	3,401

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業、発電及び売電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△352百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。